



小島友実の あの馬の **STORY**

モンキヤードー

音無秀孝厩舎に所属する七十五頭が5月13日、園田競馬場で行われたJRA A交流水晶山特別(ダート1400m)で初勝利をマーク。デビューライドとなつたこのレースでは地元の名手、下原理騎手(ヒロシ)を組み、積極的な競馬で勝利を手にしました。音無調教師はレースを見ていたのでしょうか。

で後方から。4
、直線で砂をか
すと、上がり最
気性が幼くて、
がつたし、適性

下原騎手が促して、位置を取つてくれれば
した。地元の騎手ですから勝負所を心得て
てして、正面から動き、コーナーでは一
番手の外。追われてからは最後まで踏ん
張つてしまましたが、残り100mの所でア
ラハツしてしまったし、まだ体がしつかりして
いないんだなという印象を持ちました」
「こんな課題も浮かんでいた」

「今回の園田戦無観戦にも闇ねりのよ
馬の歎を出しつゝ集中して戦わんだけし
た。つづくが上がりて、現状のままでは敵
しぐれしません。そのため、太勢手術を行
ました。この後一息入れて、間に_ト戻
効果が出でまじでですね。馬体もまだ成
長する余地があると思います」
現段階での適性や見通しを聞かれて
た。

がベテランからの強い指導も離せない。それが最大の勝利置を取つてやる。それが最大の勝利置を取つてやる。まだまだ課題のある馬で、がこの時期に勝てた事は大きいつので、良かっただと思つたわ」
父はロードカナロアで、母はグリーンフット所属レスターの中距離での勝利馬で、馬無調教師は歳募集の際、「ロードの娘に馬いわ。」と生まれながらおひつで、馬力が弱い。夫婦ともに馬を育成する経験はない。その後、育成期間などを経て、去年12月19日の阪神芝1600メートルで、結果は18着でした。

「へんじて音無調教師は、歳募集の際、「バッハの歌」を聴いて思ひ、「生まれたての心」がいいとしようね。今後の成長を第一にね」とお話ししておられた。その後、育成期間なしを経て、去年12月19日の阪神芝1600メートル「Jマーク」では1着でした。

「適性を試す意味もあつて、それで「バッハ」をやました。でも後方のままでレースが終りしまってから、しかもタイムオーバーで、かうや。まだ体ができていなかつたのも、つたかもしれませんが、あの段階ではせがむの適性はほぼ無かったと言えますね。このレースへ内容を見ても、次はターミニ向か

その初めのダーテ戦で変わった血を吸おう。3月28日の中原ダーテー400km

に帰厩。次にこのレースへ向かう力を考えて、園田の父流戦を選択した旨無調教師ではない戦略がありました。

「詰走がCPAのレーベルを着込みに来て、この馬は中央のレースに出走できる権利があるから、地方競馬の父流戦に登録しない」などと傾向などです。だから、地方競馬の父流戦には休み明けの馬や、4節と上位にしてこの馬が登録してくる事になら、前走が6着とか7着くらいの馬が出走馬の中で一番良い着順にならぬケースが多く、「もとより前走から着順にしてしまう」としてこの馬が地方交流に投票して入れれば、チャヤバが大きくなるのです。チャヤキヤハーモニーモードで勝ち上がりの条件を求めて、園田の父流戦に登録しました」

ゲーム練習も行われました。

下原騎手が促して、位置を取つてくれれば
した。地元の騎手ですから勝負所を心得て
てして、正面から動き、コーナーでは一
番手の外。追われてからは最後まで踏ん
張つてしまましたが、残り100mの所でア
ラハツしてしまったし、まだ体がしつかりして
いないんだなという印象を持ちました」
「こんな課題も浮かぶ感じになら

「アーヴィング、おまえが今から要望がない限
は、少しでもNRAはダメだと言つたのだ。距離
は一四〇〇～一六〇〇キロメートルで限るのか
なし黙の立派」「ワーナーを一回目の園田
戦のレース内線を睨んでるね」中央の一〇〇
〇メートル～一〇〇〇メートルがアーヴィング
れおかしく思ひながらも中距離で走
りあつたからね。だからいのちつは柔軟
に対応してしまわざと新規してある。去

勢効果でむしと黒が駆くくなる可能性性に期待ですね。今後も勝利を積み重ねられるとより、頑張って調整していきます」
レーベン復帰したヒンキヤードは久しぶりの様子でパツツと現れ、そしてどんななースを見せてくれるのでしょうか。次のステージに向かうヒンキヤードの今後に注目

(6月2日・電話取材)

競馬キヤスター＆ライター。現在、ラジオNIKKI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。